

解	新聞・テレビ・ラジオ
禁	平成26年7月14日

## 入札監視委員会の審議概要について

### 記 者 発 表 資 料

沖縄総合事務局開発建設部 入札監視委員会(平成26年度第1回)が、平成26年6月18日(水)に沖縄総合事務局において開催されました。

審議内容は別紙のとおりです。

平成26年7月14日

沖縄総合事務局

記 者 発 表

沖縄総合事務局記者クラブ

【問い合わせ先】

沖縄総合事務局開発建設部管理課 契約管理官 宇田川 泰彦

契約管理係長 佐々木 義和

代表 098-866-0031 (内線 2356・2541)

直通 098-866-1981

沖縄総合事務局開発建設部 入札監視委員会(平成26年度第1回) 審議概要

開催日及び場所	平成26年6月18日(水) 沖縄総合事務局 4階 事業審査室	
委員	委員長 井上 章二 (琉球大学農学部教授) 委員 鈴木 啓子 (税理士) 委員 仲地 健 (沖縄国際大学産業情報学部教授) 委員 原 久夫 (琉球大学工学部准教授) 委員 村上 尚子 (弁護士)	
	(委員は50音順:敬称略)	
審議対象期間	平成26年1月1日～平成26年3月31日	
抽出案件	総件数 5 件	(備考)
工事	一般競争 (政府調達)	1 件
	一般競争	1 件
	公募型指名競争	0 件
	工事希望型競争	0 件
	通常指名競争	0 件
	隨意契約	0 件
	建設コンサルタント業務等	2 件
	役務の提供等及び物品の製造等	1 件
	意見・質問	回答
委員からの意見・質問、 それに対する回答等	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	なし	

(別紙)

意見・質問	回答
<b>定例報告</b>	
<b>1 入札・契約に関する状況等</b>	
<b>2 建設コンサルタント業務における発注方式の選定について(試行)</b>	
<b>3 対象期間における発注案件について</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 補償コンサルタント業務とは、どのような内容の業務なのか。</li><li>○ 競争入札の平均落札率が、平成21年度から平成24年度にかけて82%から87%まで上昇しているが、考えられる理由は何か。</li></ul> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 用地関係の業務で、土地の価格や面積等を適正に算定するための業務である。</li><li>・ ダンピング対策に取り組んできたことで、落札率が以前に比べやや高くなってきたのではないかと考えている。</li></ul>
<b>4 指名停止措置の運用状況</b>	
<b>5 再度入札における工事別一位不動状況</b>	
<b>抽出事案</b>	
<b>1 工事</b>	
◆ <b>平成25年度那覇空港滑走路増設仮設桟橋1築造外1件工事</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 当該工事において、桟橋建築工事と地盤改良工事を1つの工事としてまとめて発注しているのはなぜか。</li><li>○ 競争参加資格要件では、桟橋建築工事の実績は求められているが地盤改良工事の実績は求められていない。地盤改良工事が施工可能かどうかはどのように確認するのか。</li></ul> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 両工事とも作業船を使用する必要があり、1つの工事の中で作業船を管理したほうが効率が良いと判断したため。</li><li>・ 金額的に桟橋建築工事が主であるため、地盤改良に関する実績は要件としていないが、桟橋建築工事実績のある社が地盤改良工事の実績もあることについてはコリンクス(工事実績情報システム)で確認している。また、施工を担保するため、施工体系図の確認を行っている。</li></ul>
◆ <b>平成25年度石垣港(新港地区)岸壁(-9.0m)②取付護岸ブロック工事</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 競争参加資格の設定に関して「八重山圏内」という言葉があるが、定義はされているか。</li><li>○ 参加企業が1社だけだが、八重山圏内には施工可能な業者が少ないのか。</li></ul> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 入札説明書において、石垣市・竹富町・与那国町の1市2町と定義している。</li><li>・ 事前の確認では24社が施工可能と判断していたが、工事金額が1千万円程度であり魅力が少ないと思われたのかもしれない。</li></ul>
<b>2 建設コンサルタント業務等</b>	
◆ <b>平成25年度名護東道路(数久田IC地区)土地評価業務</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 入札参加者は1社だが、技術評価点が低い。特に、専門技術力について実績なし等との結果になっているが、どう解釈すればよいのか。</li><li>○ 入札参加者間の公平性については要件設定されているが、入札参加者と地権者等との関係については要件設定されているか。</li></ul> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 実績なしというのは能力がないという意味ではなく、ここ数年の当局関係の業務実績がないという事であり、企業としては同様の業務の実績を有している。</li><li>・ 参加表明書の提出に参加しようとする者は、本業務の履行箇所に係る被補償者との間において、資本的・人的関係がないことと設定されている。</li></ul>

<p>◆ 那覇空港滑走路増設事業船舶安全情報管理業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 履行期間が2月1日から3月31日までということだが、当該業務がもし今年度も必要ということであれば年度をまたがった発注をしたほうが入札業務の手間が省かれるのではないか。</li> <li>○ 競争参加資格の要件は何か。</li> <li>○ 技術評価点の評価テーマは何か。</li> <li>○ 業務が実際に履行されたかどうかはどのように確認するのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国庫債務負担行為の形であれば年度をまたいだ発注も可能であるが、毎年様々な企業に受注機会を設けることも重要であると考えている。</li> <li>・「土木関係建設コンサルタント業務の登録をしている者または財団法人・社団法人の法人格を持っている者で、同種及び類似業務の実績がある者」としている。</li> <li>・「一般船舶の安全な航行を確保するための情報収集・提供を実施する上での留意点」としている。</li> <li>・日報から確認する。また、日々連絡を取り合っており、工事関係者・当該業務の受注者・当局の3者で情報共有を行っている。</li> </ul>
<p>3 役務の提供等及び物品の製造等</p> <p>◆ 災害対策機器等購入</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 参加業者数が1者と、参加者が少なかった理由は何か。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市販品の購入・据付であり、企業にしてみれば利益が少ないと思われたのではないかと考えている。</li> </ul>